

# 大規模研究開発の事前評価 結果(案)の概要

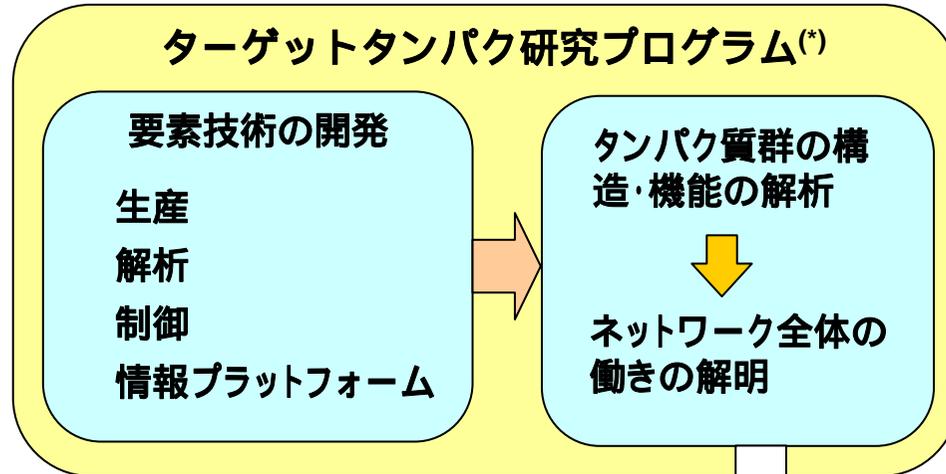
平成18年11月21日  
総合科学技術会議  
評価専門調査会

# 評価の目的、評価の実施方法

- < 目的 >** 内閣府設置法に定められた国家的に重要な研究開発の評価の一環として、平成19年度から実施が予定される国費総額が約300億円以上の研究開発について事前評価を実施。  
関係大臣に意見具申し、研究開発の効果的・効率的な推進を確保。
- < 評価対象 >** ターゲットタンパク研究プログラム  
(5年間・国費総額371億円)  
太陽エネルギーシステムフィールドテスト事業  
(8年間・国費総額約365億円)
- < 評価方法 >** 9月以降、評価専門調査会及び外部有識者も含む評価検討会において調査・検討。  
本会議で審議、決定。

# 1. ターゲットタンパク研究プログラム

【文部科学省】



(\*)本プログラムでは、例えば癌の発生・増殖、病原菌の毒性発現等に関わるタンパク質群などをターゲットとして想定

**解析が困難であり、重要な生命機能を担うタンパク質ネットワーク群の作用機序の解明**

- ガンや免疫疾患等の重要な疾患の治療への貢献
- 食品安全の確保、環境浄化等の産業応用 等

## < 評価結果 >

実施することが適当

実施にあたり、以下の点を踏まえた対応が必要

- 出口を意識し、次の段階の研究開発につながる可能性を考慮して重要なタンパク質群をターゲットとして選定
- 革新的な技術開発への挑戦を促すような目標設定及び意欲的な研究テーマの採択
- 効果的・効率的な研究開発実施体制を確保する仕組みの構築及び実施体制に応じた弾力的な資源の配分
- マネジメントサイクルの確実な実行と計画、資源配分の柔軟な見直し

# 2. 太陽エネルギーシステムフィールドテスト事業

【経済産業省】



## < 評価結果 >

実施することが適当

実施にあたり、以下の点を踏まえた対応が必要

- 普及のための具体的な事業戦略を策定し、推進
- 期待される成果等の明確な設定及び得られた成果等の適切な評価の実施、そのための評価体制の構築等
- 政策目標を達成すべく不断の事業改善への取組
- 成果を国民へ還元するため、成果や知見を継続的・効果的に情報提供、そのための取組を具体化